

令和5年度 特別支援教育サポーター養成講座 報告

今年度、特別支援教育サポーター養成講座は県内3カ所の支援学校で開催されました。本校でも気仙圏域の皆様へ呼びかけ、全8回の講座を開講しました。

◆特別支援教育サポーター養成講座の目的

- ・障がいのある幼児・児童生徒に対する理解を深めていただく。
- ・特別支援教育に関する理解と啓発、そして地域とともにある学校づくりを一層推進する。



◆講座の様子・受講生の声

- 第1回 本校の概要説明、サポートを必要とする方々への支援や配慮について
- 第2回 視覚障がいのキャップハンディ体験や手引き歩行、点字について
- 第3回 聴覚障がい児者の困り感や支援の仕方について
- 第4回 肢体不自由が及ぼす影響や車いすのキャップハンディ体験
- 第5回 発達障がい児者の困り感や具体的ななかかわり方について
- 第6回 小学部・中学部の概要と授業見学・体験
- 第7回 高等部の概要と授業見学・体験及び卒業後の進路について
- 第8回 ボランティアの歴史やとらえ方について



弱視体験	車いす体験	作業学習体験
		
様々な見え方があって驚きました。文字の読み取りが大変でした。	押してもらった際に怖さや不安もあったので、操作側の声掛けの大切さを感じました。	2時間かけての作業で、根強く続けられる生徒さんたちが頼もしく感じました。

◆おわりに

本校には28名の申し込みがありました。毎回楽しみに来校して下さる方が多く、体験を含みながらの深い学びに好評いただきました。講座を6回以上受講された方は、岩手県のボランティアバンクに登録することが可能で、今後学校から特別支援教育に関わるボランティアの依頼ができることとなります。



これまで本校では、行事における補助やプール学習での監視等のボランティアを依頼してきました。幼稚園・保育所、小中学校・高等学校からも特別支援教育ボランティアの要請が可能ですので、特別な支援を必要とする児童生徒へのサポートとしてボランティアが必要な機会がありましたら、ご活用いただきたいと思います。